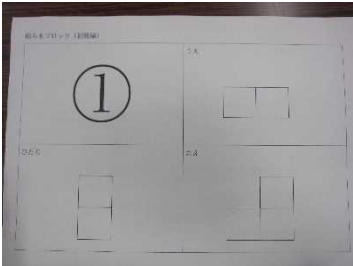
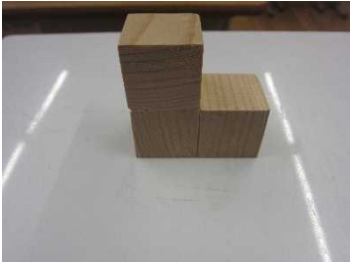
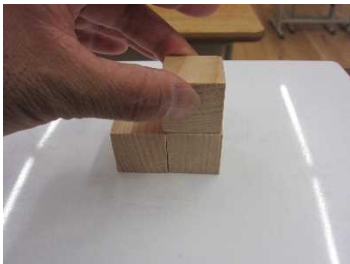


自立活動 教材教具カード

名称	3方向ブロック
区分・項目	4 環境の把握 (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること
課題内容	①ブロック（数個）を配る。 ②「上」「左」「前」の3方向から捉えた平面図が書かれた問題用紙を配る。 ③3方向全ての条件を満たすことができるように、ブロックを机上に積む。 ④完成したら教師に報告をして点検してもらう。 ※具体例 ★問題用紙  STEP 1 : 「上」から見た図と同じように配置する。  ←土台作り STEP 2 : 「左」から見た図と同じように配置する。  ↑ 左から見たとき  ↑ このとき正面はこんな感じ

	STEP 3 : 「前」 から見た図と同じように配置する。  ↑ 前から見ると2段目の左右が異なっていたため、操作する。 STEP 4 : 完成 
材料、購入先 予算価格	木材（30mm×30mm×1820mm）をホームセンター等で購入し、立方体となるようにカットする。480円ぐらい。
備考	- 練習段階では、「上」→「左」→「前」の順で行い、そのつど報告するとよい。 「上」で配置したブロックは、その後、動かさないことを伝える。「左」や「前」でブロックを「上」で配置した土台に積むときは、「左右のどちらが2階建てになるかな？」などの言葉かけをすると伝わりやすい。 - 問題に難易度を設定すると、レベルの高い問題をクリアしようという意欲や主体性が見られる。 - 問題を解くために必要な個数分だけのブロックを渡してもよいし、あえて過不足のあるよう状態にして、生徒自身が気付いて報告や依頼するようにしてもよい。 ※その他の問題（例） 